

網膜芽細胞腫とは？

乳幼児の眼に発生する小児がんです。
約15,000人に一人の割合で生じ、日本では
年間約80人が網膜芽細胞腫と診断されています。
眼の中の光を感じる網膜に発症し、片方の眼
だけに発症する場合（片眼性）と、両方の眼
に発症する場合（両眼性）があります。

早期発見できれば、生命にかかわることなく、
視力も眼球も保存することができます。
治療のため眼球を摘出した場合、
視力は失われ、義眼を装用することになります。

義眼のお手入れ以外は、他のお子さんと同じ学校生活を送ることができます。義眼がはずれることは稀ですが、ずれた場合には、他のお子さんが驚くので、保健室等で対処していただくとありがたいです。

実際は、それぞれの患児や小学校の環境によって事情が異なってくると思いますが、患児の様子を見て、保護者と相談していただければ、網膜芽細胞腫が理解していただけると思います。

必要があれば、主治医に診断書を書いていただくこともできます。

「すくすく」とは？

網膜芽細胞腫の子どもを持つ家族の会です。
国立がん研究センター中央病院を中心として
全国で活動している任意団体です。
国立がん研究センター中央病院の眼科医に
顧問医をしていただいております。

1994年に発足し、会員は全国に300人以上
います。最新の治療についての勉強会を開催
したり、啓発用ポスターを作成して、全国の
保健所等に掲示していただいたりしています。
また、会員同士の交流を深め、情報交換をし、
支えあい協力しあって運営しています。

網膜芽細胞腫に対するご理解と、これから
入学する子どもが楽しい学校生活が送れます
よう、ご協力よろしくお願い致します。



「すくすく」HP

URL <https://sukusuku20.jimdofree.com/>

WE ARE NOT ALONE!!

網膜芽細胞腫を ご理解いただくために

～小学校編～



すくすく

網膜芽細胞腫の家族の会
<https://sukusuku20.jimdofree.com/>